



TITLE:

英吉利の新税

AUTHOR(S):

河田, 嗣郎

CITATION:

河田, 嗣郎. 英吉利の新税. 經濟論叢 1916, 3(2): 122-126

ISSUE DATE:

1916-08-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127062>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號二第

卷三第

論說

國防税ノ本質

でうあつぎ・ひゅーむノ經濟學說(四)

資本ノ眞概念ノ發展(二)

戰後ノ人口増加政策(二)

支那近代ノ戸口ニ就テ(三)卷

在外正貨ト兌換券ト關係ヲ論ズ

雜錄

服部^氏國際經濟論^{ニ對スル}向井^氏ノ批評

瀧本誠一^氏ノ草茅^ニ危險^ニ論^ニ就^ニイテ

福田博士ニ答フ

戰時利得税ノ諸學說及實例

英吉利ノ新税

米國^{ニ於ケル}船舶買收法案^{ニ就テ}

經濟雜誌第五

統計書ノ概說

らぐれー「ミール」學說ノ研究(三)

『通俗經濟文庫』ノ刊行

『經濟大辭書』ノ完成

法學博士 神戸 正雄

法學博士 福田 德三

法學博士 河上 肇

文學博士 米田 庄太郎

文學博士 内藤 虎次郎

法學博士 小川 郷太郎

法學博士 河上 肇

法學博士 鈴木 券太郎

法學博士 本庄 榮治郎

法學博士 神戸 正雄

法學博士 河田 嗣郎

法學博士 岸本 熊太郎

法學博士 田島 錦治

法學博士 財部 靜治

商學士 大塚 金之助

法學博士 福田 德三

法學博士 神戸 正雄

(載 轉 禁)

英吉利の新稅

河田 嗣 郎

一 先般公ニサレタル英吉利ノ新豫算ハ前年度ニ比シ又更ニ驚ク可キ膨張ヲ示シテ居ル。經費

ノ總額ハ實ニ十八億二千五百萬磅デアツテ、就中五億九百萬磅ハ普通歲入ニ依ツテ之ヲ賄フモノトセラレ、其ノ歲入ヲ得ルガ爲メニハ、六千五百萬磅ノ新稅及ビ增稅徵收ガ企テラレタ。此ノ夥シキ歲出ハ之ヲ一日當リニシテ見レバ即チ一日五百萬磅ニ當ルノデアル。又驚クニ堪ヘタルモノト云ハナケレバナラス。

之ヲ前年度ニ比較スレバ新豫算ハ歲入ニ於テ一億七千三百萬磅ノ增收ヲ要スルノデアツテ、此ノ増加額ダケデ以テ減債費ヲ除キタル一九一三—一四年度ノ總經費ヲ充スニ足リル。換言ス

レバ新豫算ガ前年度ニ比シテ示シテ居ル歲入増加額ダケデ以テ優ニ英國平時ノ總歲出ハ賄ヘテ行クタ譯デアル。仍テ之ヲ右戰前最後ノ年ニ比較スレバ本年度豫算ノ歲入増加額ハ、餘分利得稅 Excess Profits tax (之ハ戰時特別稅トシテ新ニ設ケラレタルモノナリ) 收入八千六百萬磅ヲ加ヘテ正ニ三億一千萬磅ニ達スルノデアル。英國國民ニ取ツテハ驚ク可キ負擔増加ト謂ツベキデアル。

二 右ノ如キ驚ク可キ歲入増加ヲ得ムガ爲メニ新ニ設ケラレ若クハ増徴ヲ企テラレタル諸稅增收額ハ所得稅増徴豫定四千三百萬磅ト關稅及ビ消費稅増徴豫定二千百萬磅トヲ主トスル。左ニ新タニ設ケラレタル稅目ト其ノ課稅標準ト、増徴セラルルコトトナツタ諸稅目ト其ノ増徴率トヲ示シテ見ヤウ。

(A) 新稅

- (一) 芝居、活動寫眞、フトボール仕合及ビ競馬ノ入場料賦課稅 (遊興稅) 其ノ稅率ハ半片コリ一志ニ及ブ。
- (二) 鐵道乘車券賦課稅 (交通稅) 之ハ英國内ニ初マリ英國内ニ終ル汽車旅行 (旅行ノ全部鐵道ニ依ルト其ノ一部分ノミ鐵

***** L'économiste européen, 5, mai, 1916.

- 1) The Times (weekly edition, April 14, 1916.
The Economist, May 13, 1916.

道ニ依ルトチ間ハズニ課スルモノト英國内ニ初マリ外國ニ到ルモノニ課スルノト其ノ稅率チ異ニスル。其率左表ノ如シ。

(B) 増徴

(一) 所得稅 其ノ稅率新舊比較左表ノ如シ。
(イ) 普通所得 (earned incomes)

所得	舊稅率	新稅率
500磅以下	二志片	二志片
500—1,000磅	二志片	二志片
1,000—1,500磅	二志片	二志片
1,500—2,000磅	二志片	二志片
2,000—2,500磅	二志片	二志片
2,500—3,000磅	二志片	二志片
3,000—4,000磅	二志片	二志片
4,000—5,000磅	二志片	二志片
5,000—10,000磅	二志片	二志片
10,000磅以上	二志片	二志片

雜錄 英吉利ノ新稅

額ニ付キ	所得	舊稅率	新稅率
300磅ヲ超ヘザルモノ	二志片	二志片	二志片
300—500磅	二志片	二志片	二志片
500—1,000磅	二志片	二志片	二志片
1,000—1,500磅	二志片	二志片	二志片
1,500—2,000磅	二志片	二志片	二志片
2,000—2,500磅	二志片	二志片	二志片
2,500—3,000磅	二志片	二志片	二志片
3,000—4,000磅	二志片	二志片	二志片
4,000—5,000磅	二志片	二志片	二志片
5,000—10,000磅	二志片	二志片	二志片
10,000磅以上	二志片	二志片	二志片

(二) 發動機車稅 (motor cars) 其ノ新舊稅率比較左表ノ如シ	舊稅率	新稅率
動力(馬力)	二志片	二志片
六ノ馬力ヲ超ヘザルモノ	二志片	二志片
六—十二馬力	二志片	二志片
十二—十六馬力	二志片	二志片
十六—二十馬力	二志片	二志片
二十—二十四馬力	二志片	二志片
二十四—三十馬力	二志片	二志片
三十—四十馬力	二志片	二志片
四十—五十馬力	二志片	二志片
五十—六十馬力	二志片	二志片
六十—七十馬力	二志片	二志片
七十—八十馬力	二志片	二志片
八十—九十馬力	二志片	二志片
九十—一百馬力	二志片	二志片
一百馬力以上	二志片	二志片

(三) 發動機車稅 其ノ新舊稅率比較左表ノ如シ	舊稅率	新稅率
馬力ノ發動機車稅ノ四分三(舊稅率ハ一様ニ一車一磅)	二志片	二志片
砂糖稅 一付度ニ付半片増徴	二志片	二志片
(四) 砂糖稅 一付度ニ付六片(舊稅率ハ一片半)	二志片	二志片
(五) ココア稅 一付度ニ付六片(舊稅率ハ一片半)	二志片	二志片
(六) 咖啡及 Chicory 稅 一付度ニ付六片(舊稅率三片)	二志片	二志片
(七) 餘分利得稅 舊稅率五〇%ヲ六〇%ニ上ボス	二志片	二志片

第三卷 (第二號二七) 一二三

在ツテハ寔ニ已ムヲ得ザル所デアツテ、彼ノ莫大ナル戰費ヲ償ハンガ爲メニハ國民ニ於テ此ダケノ負擔ヲ爲スハ元ヨリ覺悟ノ前ノ事ト云ハネバナラヌ。ケレドモ新ニ設ケラレタル諸稅目ヤ増徴ヲ見ルニ至ツタ諸稅ノ増徴率ヤニツイテハ其ノ一ツ一ツニ關シテハ多少ノ批評ガ行ハレテ居ルヤウデアル。就中最モ大イナル批評ト疑問ノ標的トナツテ居ルノハ所得稅デアル。

即チ所得稅ハ本年既ニ其ノ二割増徴ガ實行サルルニ至ツテ居ルノニ更ニ又之ヲ上ボサウトスルデアツテ、新稅率ハ之ヲ戰前最後ノ年ノ率ニ比スレバ實ニ十四割ノ増加トナル次第デアルカラ、之ハ餘リニ甚シイ増徴デハアルマイカトハ「タイムス」以下多クノモノノ大ニ疑問トスル所デアル。甚シキニ至ツテハ、之ハ課稅ニ非ズシテ財産沒收ナリト絶叫シテ居ル。其等ニ關スル議論ノ方面ハ暫ク措キ之ヲ新稅法ノ下ニ於ケル實際ノ稅負擔ニ就イテ見ルト新所得稅法ハ隨分重イ負擔ヲ課スルモノタルヲ知ルコトガ出來ル。

Mc Kenna 氏^々 Leicester Harmsworth 氏ノ請

ニ依リ百五十磅以上十萬磅迄ノ各不勞所得額ニ對シ新稅法ノ下ニソガ所得稅トシテ負擔ス可キモノト過剩^{シュール・プラス}稅トシテ負擔ス可キモノト四十歲ヲ標準トシ estate duty ノ用意ノ爲メニスルニ必要ナル「プレミアムス」トヲ合計シタモノヲ表ニ造ツテ示シタモノハ能ク此ノ稅負擔ノ程度ヲ例示スルニ足リル。其ノ典型的ナル課稅歩合ハ左表ノ如クデアル。

所得

各一磅ニ對スル稅負擔歩合

一五〇磅	二・二〇
二〇〇磅	一・四三
三〇〇磅	一・六六
四〇〇磅	一・六六
一、〇〇〇磅	一・七三
五、〇〇〇磅	一・七三
一〇、〇〇〇磅	一・四八
一〇〇、〇〇〇磅	一・二五

右表ノ例示スル所ニ依ツテ見ルト十萬磅ノ不勞所得ヲ有スル者ハ一磅ニ付キ十志(即チ半額也)以上ノ稅負擔ニ任スル譯デアツテ、「えこのみす」と誌ノ如キモ「たいむす」紙ノ謂フ所ニ裏書シテ之レ殆ンド財産沒收ニ近イモノデアルト道ツ

ヲ居ル。少クトモ英國ニ於ケル富裕者例ヘバ一年五萬磅ノ所得ヲ有スル者ハ佛國ヤ露國ヤ伊國ニ於テ同額ノ所得ヲ有スル者ヨリ五倍乃至十倍ノ重キ稅負擔ニ任ズルモノナリトセラレルノデアル。而シテ此ノ戰時稅ハ舊來ノ地方ノ大地主ニ大恐慌ヲ起サシムルニ足リ田舎ノ大家ハ益以テ賣ル可ラザルモノトナルデアラウト述ベラレテアル。³⁾

消費稅ノ方面ニ關シテハ右所得稅ニ對スルホドノ議論ハナイガ、食卓飲料ト燐寸トノ課稅ハ少シク重キニ過グルトセラレテ居ル様デアル。其他砂糖珈琲コゝあ等ニ對スル増稅ヤ發動機車及自働自轉車ニ對スル増稅ヤハ云ハバ豫期セラレタ所デアリ、芝居ヤ競馬等ノ遊興稅ハ正ニ然カアル可キモノトシテ一般ニ歡迎セラレテ居ル。而シテ鐵道交通稅ニ至ツテハ今ヤ國內外ノ旅行ヲ爲スモノハ遊山ノ爲メニスルハ少ク大抵ハ業務ノ爲メニスルノデアルカラ、之レニ新ニ課稅スルハ業務ヲ妨ゲ經濟上ニ不利ヲ齎スモノトシテ非難セラテアル。⁴⁾

要スルニ新稅法ニ對シテハ多少ノ非難ハアルケレドモ何シロ此國難ニ當ツテ一日五百萬磅ト云フ尨大ナル經費ヲ要スル次第デアリ、此ノ新稅法ニ依ル稅收入ノ増加ヲ得テ租稅總收入四億五千七百萬磅ヲ上ゲ得テモ尙ホ歲入總計ハ五億二百萬磅ニシカナラズ歲出總計十八億二千五百萬磅ニ對シテ十三億二千三百萬磅ト云フ莫大ノ歲入不足ヲ生ズル譯合デ之ハ公債ニ依リ支辨スルノ外ナキ狀態ナレバ、英國民ハ喜ンデ新豫算ニ依ル財政負擔ニ任ジャウト決心シテ居ルノデアル。吾人ハ彼ノ驚ク可キ巨額ノ戰費ト之ヲ辨ゼムガ爲メノ大袈裟ナル豫算ト之ヨリ來ル財政負擔ニ甘ンジテ應ゼムトシ又之ニ應ズルノ能力アル英國民ノ富力トヲ見ルニ就ケテ、英國ノ未ダ容易ニ侮ル可ラザルヲ思フト同時ニ、其ノ財政經濟力ノ強大ニシテ根柢堅固ナルヲ日本國民トシテ羨望セザルヲ得ナイ。而シテ彼ノ所得稅ノ課率ニ至ツテハ、成程重イハ重イニ相違ナイガ、累進率ニ依ツテ富者ノ負擔ノ重イ様ニシ其ノ累進ノ度ヲ大ニスルコトハ今日ノ如キ國難ニ際

3) The Economist, May 27, 1916.

4) The Times, ibidem

シテハ特ニ必要デ又最モ正當ナ事デアル。十萬磅ノ不勞所得アル者ガ一磅ニ付キ其ノ半額以上ノ稅負擔ヲ爲スガ如キモ格別怪ムヲ要セナイ。多額ノ不勞所得ヲ有スル者ハ所謂不勞シテ之ヲ得ル者デアリ、平素大イナル不當利得ヲ得テ居ルノデアルカラ、セメテハ國家財政難ノ時ニ當ツテ公共ノ爲メニ盡ス可キデアル。不勞所得ハ事理ノ當然ヨリ云ヘバ全額國家若クハ地方團體ニ歸屬ス可キモノデアルカラ、其ノ半額ヲ稅トシテ出スニ於テ固ヨリ彼此云フ可キ筈ノモノデハナイ。吾人ハろいど、ぢようぢ氏出納尙書ノ職ニ在ラズトモ尙ホ能ク英國ノ政府ガ思切リヲ斯カル政策ヲ敢テスルヲ得ル勇氣ト道念トヲ尊敬スルヲ禁ジ得ナイ。又彼ノ戰時餘分利得稅ノ如キモ其ノ六割ヲ徵スルハ頗ル當ヲ得タル課稅政策ト云ハネバナラヌ。我國ニ於テモ之ヲ鑑トス可キモノ少クナイデアラウ。(七月八日稿)